

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用		
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置		
1	女 80代	肺炎 (なし)	2.0g 8日間 ↓ 1.0g 4日間	汎血球減少症		
				投与開始日	肺炎に対し本剤2.0g/日で投与開始。	
				投与8日目	汎血球減少あり。	
				投与9日目	本剤1.0g/日に減量。	
				投与12日目 (投与中止日)	本剤投与中止。	
				中止3日後	白血球数990/mm ³ , ヘモグロビン8.8g/dL, 血小板数4.7×10 ⁴ /mm ³ と著明な汎血球減少あり。 レノグラスチム(遺伝子組換え)100µg, メロペネム水和物1.5g/日で投与開始。	
				中止6日頃	白血球数11690/mm ³ , ヘモグロビン9.7g/dL, 血小板数16.4×10 ⁴ /mm ³ と改善あり。 レノグラスチム(遺伝子組換え)100µg投与中止。 メロペネム水和物は投与継続。	
臨床検査値						
	投与開始日	投与5日目	投与8日目	投与11日目	中止3日後	中止6日後
赤血球数 (×10 ⁴ /mm ³)	348	391	382	310	304	288
ヘモグロビン (g/dL)	10.6	11.6	11.4	9.0	8.8	8.4
ヘマトクリット (%)	32.3	35.2	34.6	28.3	28.2	26.7
血小板数 (×10 ⁴ /mm ³)	12.5	11.1	10.6	7.4	4.7	4.0
白血球数 (/mm ³)	31000	11930	2750	3070	990	950
好塩基球 (%)	0.2	0.0	0.0	0.3	0.0	0.02
好酸球 (%)	0.0	0.0	0.4	0.7	2.0	3.2
好中球 (%)	96.6	96.9	87.6	80.4	35.4	36.8
リンパ球 (%)	0.7	2.8	11.3	17.9	58.6	46.3
CRP (mg/dL)	21.56	10.82	4.67	2.07	0.56	0.64
併用薬: プレドニゾロン, リマプロスト アルファデクス, ランソプラゾール, アルファカルシドール, フロセミド, スピロラクトン, セレコキシブ, メトトレキサート						

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用		
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置		
2	男 10代	虫垂炎疑い, 細菌性腸炎	2g 3日間	間質性腎炎 身長136cm 体重45.2kg 医薬品副作用歴：不明 ロセフィン投与歴：初回，セフェム系薬剤投与歴：有		
				不明	39℃台の発熱と感冒症状が出現したため近医受診。2日後、腹痛を認めたため、急性虫垂炎疑いで近医外科に入院。	
				投与3日前	発熱。クラリスロマイシン，セフカペンピポキシル塩酸塩水和物処方。	
				投与1日前	腹痛，発熱，入院時検査で炎症反応の上昇を認め，他院でセフォチアム塩酸塩投与開始。	
				投与開始日	セフォチアム塩酸塩を本剤2g/日に変更。	
				投与3日目 (投与中止日) (発現日)	虫垂炎が否定的のため，小児科へ転科。BUN，Crの上昇とCRP，白血球数の増加。ホスホマイシンナトリウム追加。急性腎不全発現。	
				中止2日後	抗生剤治療を続けていたが，検査で腎機能の悪化を認め，乏尿となったため，転院。 (転院時)浮腫，電解質異常を認めていたため，抗生剤は全て中止。輸液と全身管理による保存的治療を行った。 【転院時理学的所見】 胸部：清 心音：純 腹部：膨隆・軟 肝・脾触知せず(－) 腹痛：(＋) 下腿浮腫：(－) 下痢：(＋)	
				中止8日後	尿量の増加を認めたが，腎機能の改善を認めなかった。	
				中止10日後	原因検索のため，腎生検施行。腎組織所見では糸球体に異常は認めないが，尿細管間質へ高度の炎症細胞浸潤を認めた。	
中止16日後	急性腎不全転帰：回復 腎機能，浮腫は徐々に改善し，退院。以降腎機能の悪化を認めていない。間質性腎炎の原因検索のためDLSTを施行し，本剤で陽性であったため，本剤による急性腎障害と診断。 抗生剤の中止，輸液のみで症状は改善した。					

臨床検査値

	投与開始日	投与3日目	中止2日後	中止4日後	中止6日後	中止9日後
赤血球数 (×10 ⁴ /mm ³)	378	363	372	355	345	341
ヘモグロビン (g/dL)	11.2	10.6	10.7	10.3	9.9	9.9
白血球数 (/mm ³)	20160	27250	9980	12050	10310	7890
血小板数 (×10 ⁴ /mm ³)	36.8	39.7	39.4	40.1	53.9	55.9
AST (GOT) (IU)	19	17	10	19	19	19
ALT (GPT) (IU)	50	20	16	16	18	22
TP (g/dL)	6.6	6.0	5.7	6.0	6.7	7.0
BUN (mg/dL)	13.7	44.6	81.7	78	32	12
Cr (mg/dL)	0.61	3.34	5.86	6.6	2.11	0.67
尿蛋白	－	2 (＋)	－	－	(－)	(－)
尿潜血	－	(－)	(－)	－	(－)	(－)
尿量 (mL/day)	－	－	438/半日	145	5820	2235
CRP (mg/dL)	11.06	22.14	8.93	4.6	2.1	0.5

併用薬：セフォチアム塩酸塩，クラリスロマイシン，セフカペンピポキシル塩酸塩水和物

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
3	女 10歳 未満	上気道の炎症	500mg 5日間	間質性腎炎 身長：71cm 体重：10kg 本剤投与歴：初回	
				投与5日前	発熱。近医でセフカペンピボキシル塩酸塩水和物，去痰薬処方。
				投与3日前	解熱。
				投与2日前	再度発熱。
				投与開始日	体温40°C。CRP 9.9mg/dL，白血球数 26700/mm ³ にて本剤静注。
				投与3日目 (発現日)	CRP 18.7mg/dL，白血球数 24700/mm ³ ，BUN 20.5mg/dL，血清Cr 0.81mg/dLと上昇あり。浮腫，乏尿あり。前医に入院。 大量の輸液，利尿剤，アルブミン，本剤を投与。急性腎不全発現。
				投与4日目	尿量やや増加。
				投与5日目 (投与中止日)	血清Cr 3.74mg/dLと上昇し，透析治療が必要となる可能性を考慮して転院。転院後は本剤投与なし。
				不 明	その後水分制限，利尿剤投与，重曹補正等にて血清Crは中止1日後の4.15mg/dLをピークに低下し，尿量も得られ浮腫は改善した。腹部造影CTでは巣状細菌性腎炎などは否定的で膀胱尿管逆流も認めなかった。 腎生検の病理所見は尿細管間質に浮腫や線維化，リンパ球を中心とした細胞浸潤，尿細管の脱落がみられた。尿細管間質性腎障害の鑑別としてYersinia抗体を検索するも陰性であった。
中止257日後	未回復であるが徐々に血清Cr等は落ちついてきており回復に向かっている。1～1カ月半ほど入院が必要であった。				
DLST（本剤）：施行 S.I. 330%					

臨床検査値

	投与192日前	投与開始日	投与3日目	投与中止日	中止1日後	中止10日後	中止66日後
赤血球数 (×10 ⁴ /mm ³)	395	—	376	392	377	345	425
ヘモグロビン (g/dL)	9.8	—	7.5	7.9	7.1	7.0	11.4
白血球数 (/mm ³)	8000	26700	24700/19000	16000	11200	6500	11800
血小板数 (×10 ⁴ /mm ³)	42.7	—	44.6	46.9	48.2	30.4	26.2
AST (GOT) (IU)	39	—	14	14	9	22	27
ALT (GPT) (IU)	17	—	3	2	<1	4	9
TP (g/dL)	5.3	—	4.6	4.8	4.7	6.8	7.1
Alb (g/dL)	3.6	—	3.0	3.0	2.7	4.1	4.6
BUN (mg/dL)	1.5	—	20.5/44.7	49.4	50.1	19.3	24.7
血清Cr (mg/dL)	0.19	—	0.81/2.73	3.74	4.15	0.78	0.32
尿蛋白	20	—	100	(—)	—	(+)	(—)
尿潜血	(—)	—	(+)	(+)	—	(1+)	(1+)
CRP (mg/dL)	1.02	9.9	18.7/9.8	6.9	4.59	4.58	0.93

併用薬：パニペナム・ベタミプロン，人血清アルブミン，アセトアミノフェン，セフカペンピボキシル塩酸塩水和物

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
4	女 60代	糖尿病性壊疽 (慢性腎不全, 2型糖尿病, 糖尿病網膜 症)	2g (隔日) 7日間 2g (隔日) 5日間	意識障害 血液透析, 非喫煙者 医薬品副作用歴:ミノサイクリン塩酸塩(嘔吐), ニトログリセリン(接触性皮膚炎)	
				投与開始日	足壊疽感染に対し本剤2g×1回隔日投与開始。
				投与5日後	応答ゆっくりとなる。
				投与7日後 (投与中止日)	発話消失。本剤血中濃度: 56.3µg/mL。本剤投与中止。
				中止3日後	この日より発話。
				中止315日後 (再投与開始日)	足壊疽感染に対し本剤2g×1回隔日投与開始。血液透析後に投与。
				再投与4日後 (再投与中止日)	本剤血中濃度: 約200µg/mL
				再投与中止1日後 (発現日)	意味不明の発言, 反応不良, 視線が合わない。(意識障害後)
				再投与中止2日後	夫を認識できず, 名前が言えない。救急搬送され入院。EEG三相波をわずかに認める。本剤血中濃度: 30.6µg/mL 本剤投与中止にて意識改善。
				再投与中止7日後	本剤血中濃度: 0.7µg/mL
再投与中止8日後	意識障害改善し退院。意識障害転帰: 軽快				

臨床検査値

	再投与中止2日後	再投与中止3日後	再投与中止4日後	再投与中止8日後
赤血球数 (×10 ⁴ /mm ³)	318	277	—	—
ヘモグロビン (g/dL)	10.8	9.4	—	—
白血球数 (/mm ³)	7800	7000	—	—
血小板数 (×10 ⁴ /mm ³)	26.1	24.8	—	—
AST (GOT) (IU)	18	15	16	—
ALT (GPT) (IU)	6	4	5	—
T-Bil (mg/dL)	0.3	0.4	0.4	—
BUN (mg/dL)	22.4	26.2	15.0	—
Cr (mg/dL)	5.7	7.1	4.1	—
CRP (mg/dL)	2.2	1.4	—	—
収縮期血圧 (mmHg)	132	—	—	90
拡張期血圧 (mmHg)	60	—	—	48

併用薬: ヒトインスリン(遺伝子組換え), クロピドグレル硫酸塩, アスピリン, ランソプラゾール, ビソプロロールフマル酸塩, ニコランジル, エナラプリルマレイン酸塩, アルファカルシドール, パンコール・B₂・B₆・ニコアミ配合剤, 葉酸

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
5	男 70代	総胆管結石 (糖尿病, 重症感染症, 透析導入)	1g ~ 4g 22日間	意識障害 40歳代糖尿病罹患。3年前に透析導入。体重169cm, 体重59kg。	
				投与19日前	総胆管結石発症。
				投与開始日	ドレーン抜去。重症感染症のため本剤を1g/日投与開始。
				投与2日後	本剤を2g/日に増量。
				投与3日後	本剤を4g/日に増量。アミカシン硫酸塩注射液を200mg/日を追加単回投与。血液透析施行。
				投与6日後	血液透析施行。胆道系酵素及び炎症マーカー改善傾向。朝からボーッととして、意識レベル低下。頭部コンピュータ断層撮影(CT)に明らかな異常なし。 本剤を2g/日に減量。
				投与7日後	前日より意識レベル改善。本剤を1g/日に減量。
				投与9日後	意識レベル軽快。
		転帰：軽快			

臨床検査値

	投与 15日前	投与 14日前	投与 11日前	投与 6日前	投与 4日前	投与 1日前	投与 1日後	投与 3日後	投与 6日後	投与 7日後	投与 10日後	投与 18日後	投与 20日後	中止 1日後	中止 6日後
赤血球数 ($\times 10^4/\text{mm}^3$)	245	255	219	283	232	238	236	232	245	247	248	213	241	242	229
ヘモグロビン (g/dL)	8.2	8.5	7.2	9.5	7.5	7.7	8.0	7.5	8.2	8.2	8.3	6.5	7.4	7.5	7.2
ヘマトクリット値 (%)	24.8	25.9	22.5	28.7	23.5	24.3	23.6	23.5	25.1	25.7	25.8	20.3	22.1	22.6	21.9
白血球数 (/ mm^3)	6740	8930	7400	7400	7440	10200	15210	12570	11640	9170	9990	13690	10500	10200	10200
血小板数 ($\times 10^4/\text{mm}^3$)	11.8	12.5	11.6	13.1	18.6	18.9	18.0	16.9	19.6	19.6	18.4	18.7	18.0	19.8	20.6
AST (GOT) (IU/L)	43	—	23	83	48	26	51	23	19	17	13	—	16	14	—
ALT (GPT) (IU/L)	2	—	1	4	0	0	1	1	2	2	3	—	9	6	—
Al-P (IU/L)	946	—	933	1264	—	736	865	593	441	404	375	—	414	447	390
γ -GTP (IU/L)	284	—	199	260	—	163	222	136	87	76	61	—	42	37	—
総ビリルビン (mg/dL)	1.86	—	1.10	2.05	2.12	1.25	3.13	1.77	1.05	0.95	0.90	2.44	2.23	1.80	—
BUN (mg/dL)	50.5	—	22.9	34.1	26.9	35.6	26.8	32.2	37.3	20.6	7.4	29.4	25.8	21.2	15.4
クレアチニン (mg/dL)	9.34	—	7.76	8.16	6.48	8.50	7.38	7.72	7.21	4.96	4.22	6.31	6.16	5.63	6.89
血糖値 (mg/dL)	102	—	180	259	72	53	180	125	147	206	193	—	336	273	333
血清カリウム (mEq/L)	4.1	—	3.5	4.2	3.7	3.6	3.3	3.4	3.3	3.5	3.6	3.7	3.2	3.1	3.3
血清ナトリウム (mEq/L)	134	—	138	134	134	136	135	131	134	139	139	144	142	145	141
血清総蛋白 (g/dL)	5.8	—	5.6	6.7	5.6	5.6	5.4	4.7	4.8	4.6	4.9	—	4.6	4.5	4.5
CRP (mg/dL)	2.24	—	1.39	3.18	2.43	2.99	5.66	15.25	9.05	7.62	4.29	10.28	11.85	11.37	2.63

併用薬：オメプラゾール，アルファカルシドール，アスピリン，ニフェジピン，沈降炭酸カルシウム，ロサルタンカリウム，ドキサゾシンメシル酸塩，エピナスチン塩酸塩，センノシド，ブドウ糖－電解質液（開始液），ウルソデオキシコール酸，チアミン・アスコルビン酸配合剤，アミカシン硫酸塩